

3類型	農林水産物	番号	8-25-002
地域資源名	はちみつ	認定日	平成25年7月8日
地域	長崎県対馬市	所管省庁	農林水産省・経済産業省

**事業名：日本ミツバチのはちみつを使った幻の菓子「くわすり」の再現、試作開発、販路開拓**

会社名：株式会社ウエハラ

所在地：長崎県対馬市厳原町大字国分1251

連絡先：TEL:0920-52-0828  
FAX:0920-52-6171

H P: <http://www.tsushima-uehara.com/>

**事業概要(新たな活用の視点)**

対馬産はちみつは、採取量が限定されており、対馬島外ではあまり流通していなかった。このはちみつを活用し、室町から安土桃山時代にかけて朝鮮半島から伝来し、対馬藩を窓口全国的に流行した幻の菓子「くわすり」を忠実に再現・開発、バリエーションを増やし、その販路開拓を図るものとする。

**売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)**



くわすりの源流  
韓国菓子「菓菓」

◆競争力

単なる土産品ではない、歴史・文化上の位置づけにより他商品との差別化を図る。「くわすり」の唯一の研究者橋爪伸子氏の監修の元、対馬藩等の文献を活用し、対馬出身のオーナーが経営する福岡の老舗和菓子業の試作開発の協力を得ながら、同様のルーツを持つ韓国の「菓菓(ヤックア)」を参考に、その歴史的価値を壊さぬよう忠実に再現する。

◆市場性

九州への韓国人観光客を中心市場として捉えている。年間64万人の韓国人観光だけで約20億円の市場が存在する。韓国から対馬への入国者は平成23年約4万7千人から平成24年約15万人へと急増しており、追い風となる。これに加え、文化芸術的志向性を持ち、歴史に正確な認識を持つ、または持ちたいと考える日韓両国の国民に対して専門メディアや劇場、美術館、博物館と連携したイベント等を通してPRすることで、市場を拡大する。

◆販路

当社の直営4店舗、厳原港と比田勝港の売店、対馬空港の売店で販売を開始、続いて、九州各地の観光地において、韓国人観光客を集めるキー商品として実演等による販売を行う。さらに、PRを兼ねて当社が以前より参加している全国の百貨店、大型量販店催事で販売しながら、最終的には通信販売等を通して、文化芸術的志向性の高い日韓両国民へ販売する。

**地域資源における関係事業者との連携**

試作開発は、橋爪伸子氏、福岡の老舗和菓子業、市内製菓業者等と連携する。PR、販路開拓は、国内は、対馬歴史民俗資料館、市観光物産推進本部、対馬観光物産協会、県対馬振興局、県物産振興協会、県中小企業団体中央会、九州国立博物館等の協力を仰ぎ、韓国は、対馬国際交流協会釜山事務所、対馬高校国際交流課等の協力を頂く。これにより、対馬の歴史・文化の国際交流による観光客の満足度向上及び誘客を図りつつ、ハチミツ生産者の付加価値を向上し、また我が国の国内における対馬の歴史・文化的位置づけを明確にする。